

59-46



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 23日

豊 田 市 長 殿

提出者 愛知県豊田市小坂本町1-5-10
住所 ヤハギ道路 株式会社
氏名 櫻井 正典
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 4710034

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	ヤハギ道路株式会社
事業場の所在地	愛知県豊田市小坂本町1-5-10
事業の種類	総合建設業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

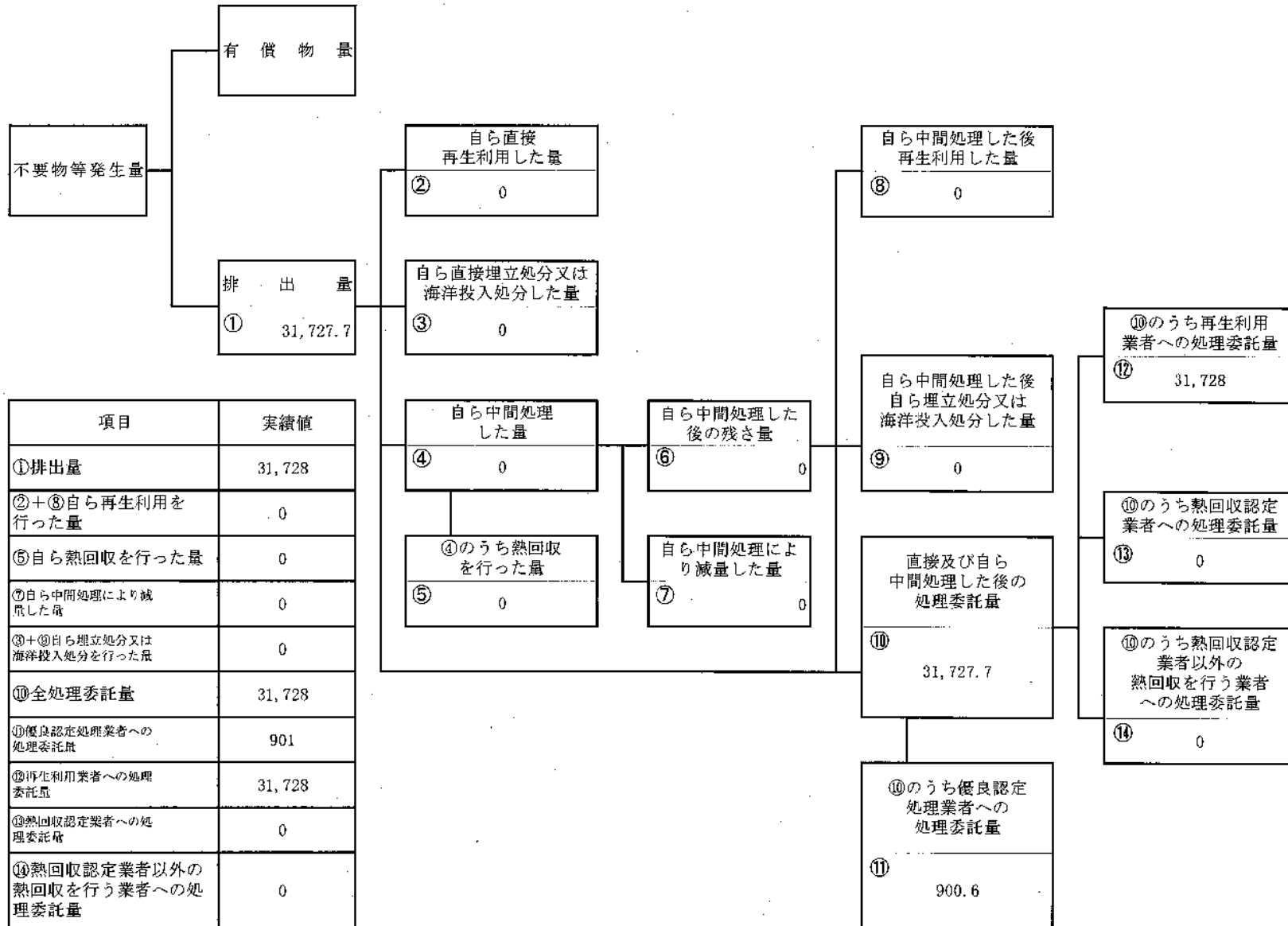
項目	目標値	項目	目標値
排出量	32580t _t	全処理委託量	32580t _t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	5083t _t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	32580t _t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

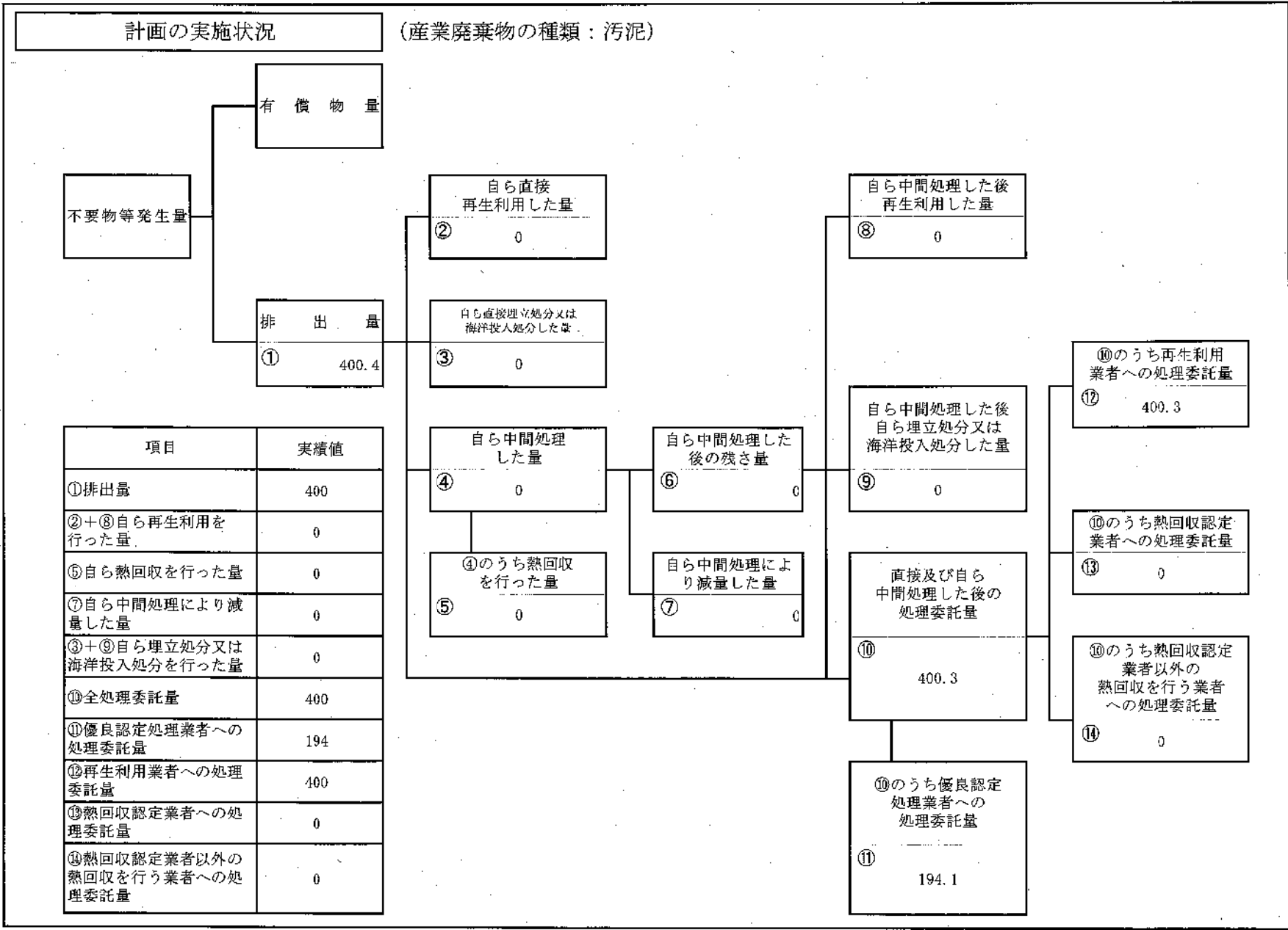
※事務処理欄

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

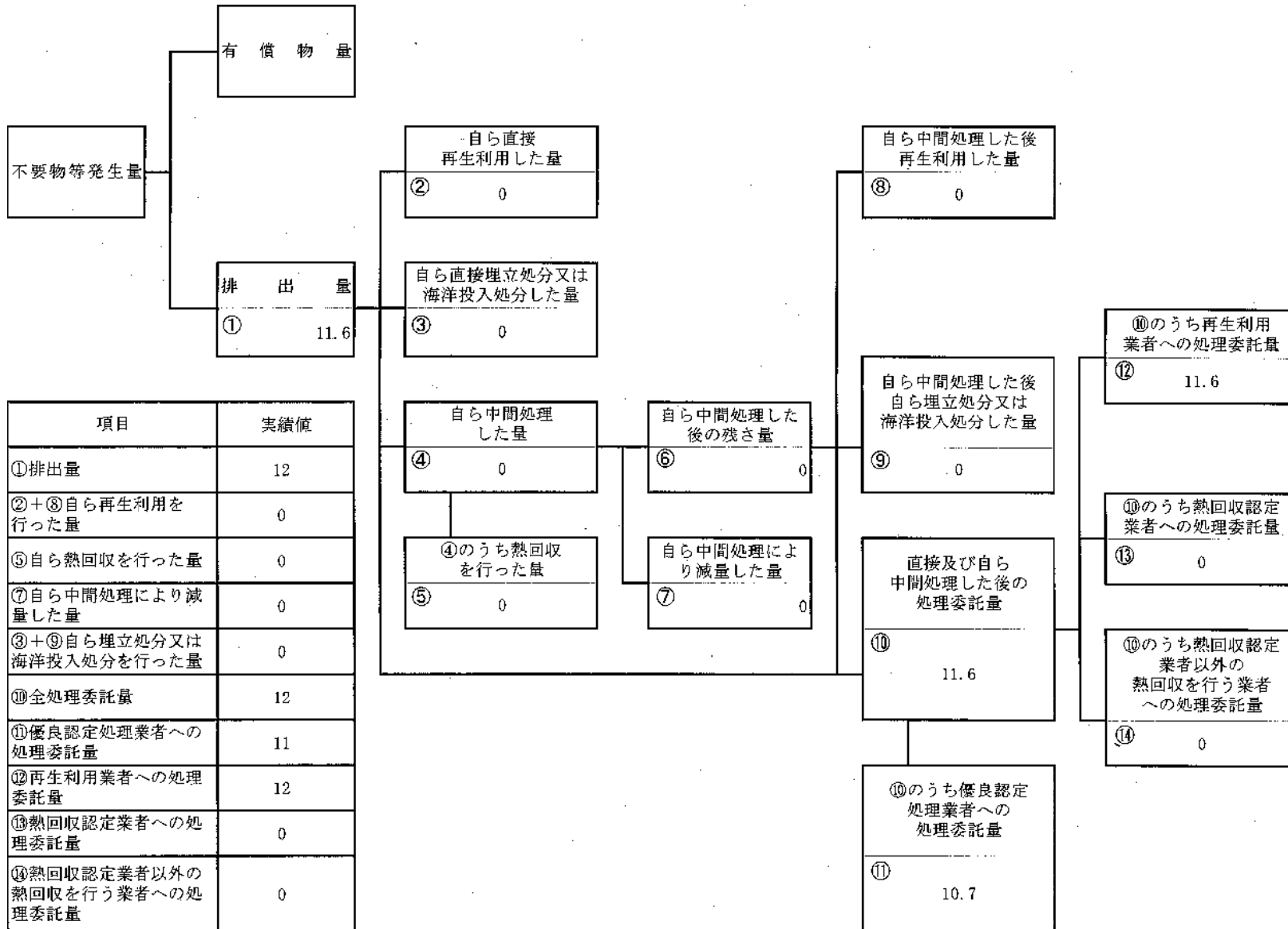
(産業廃棄物の種類：がれき類)





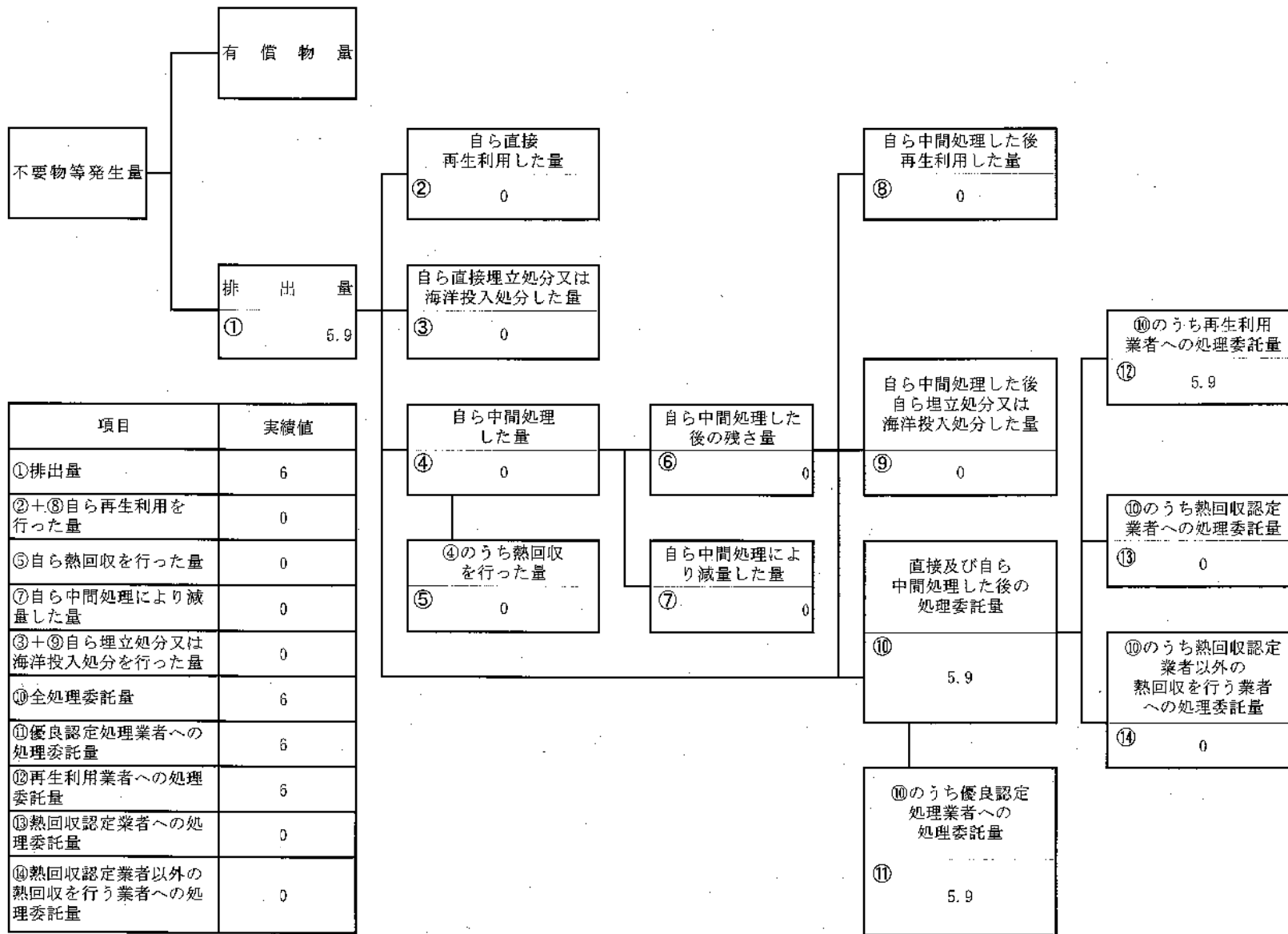
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)



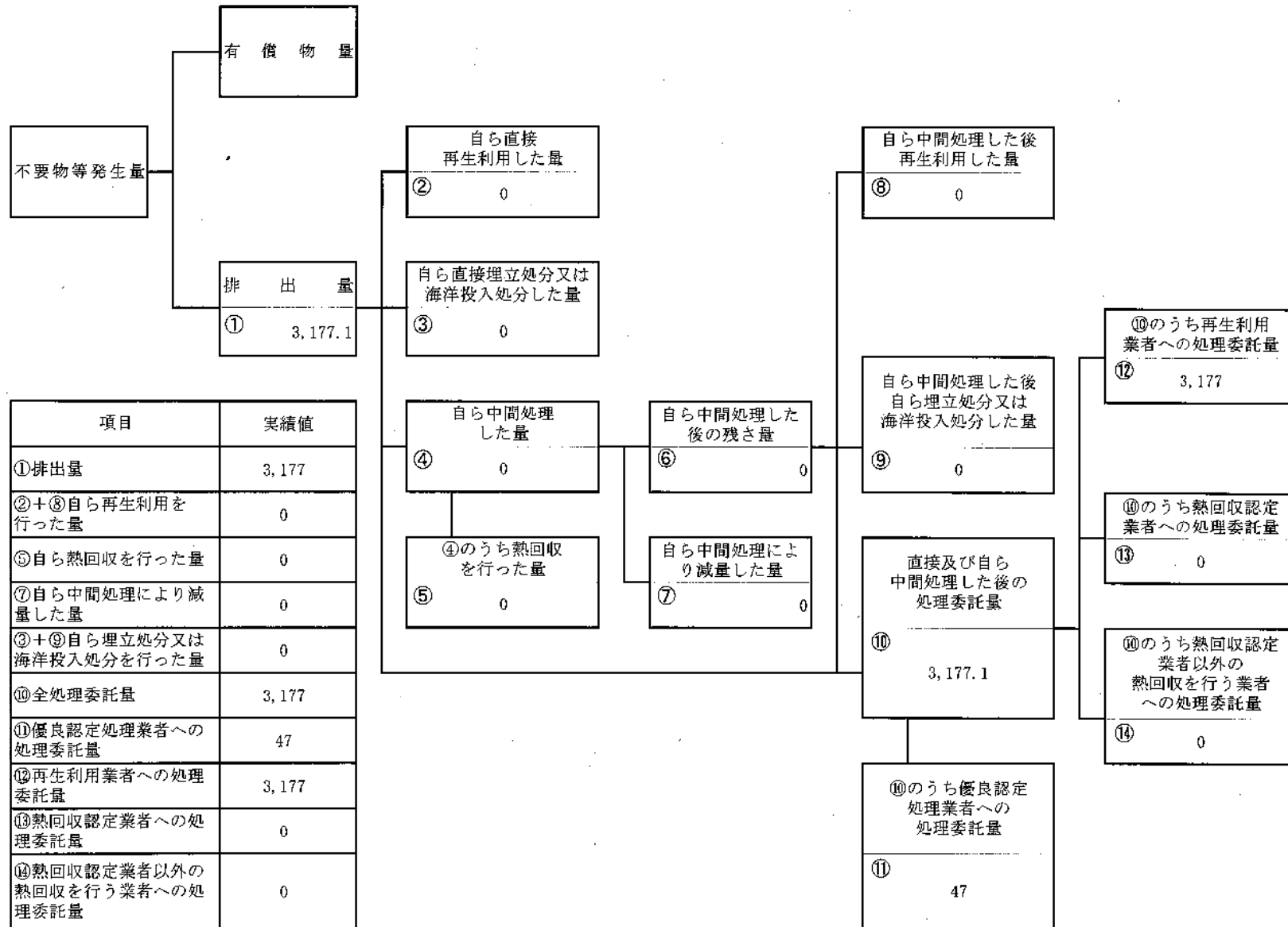
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・陶磁器くず)



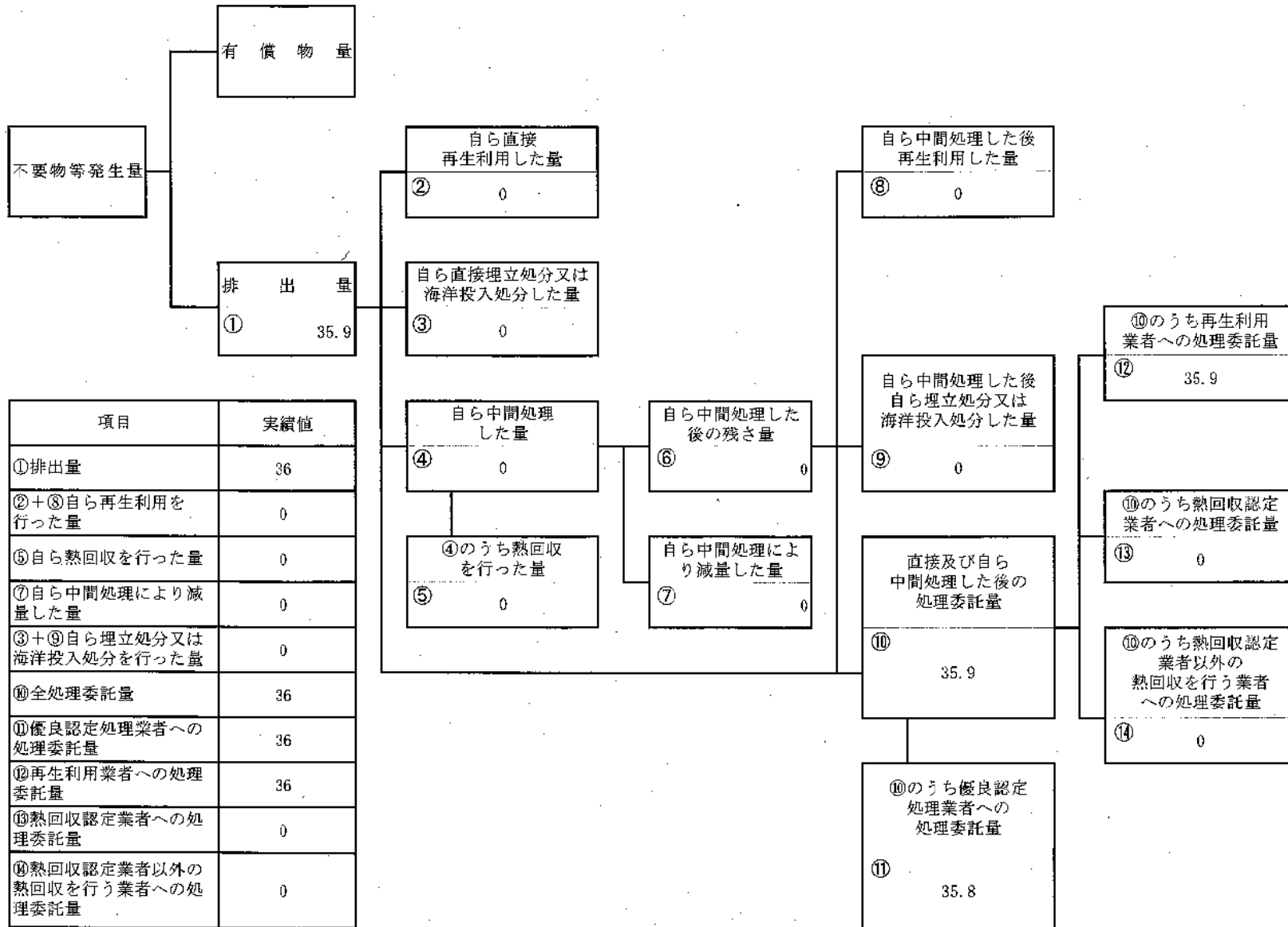
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

不要物等発生量

排出量

① 208

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理

④

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した

⑥

自ら中間処理に
り減量した量

7

自ら中間処理した後
再生利用した量

8

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

9

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

10

208

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 206.9

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

208

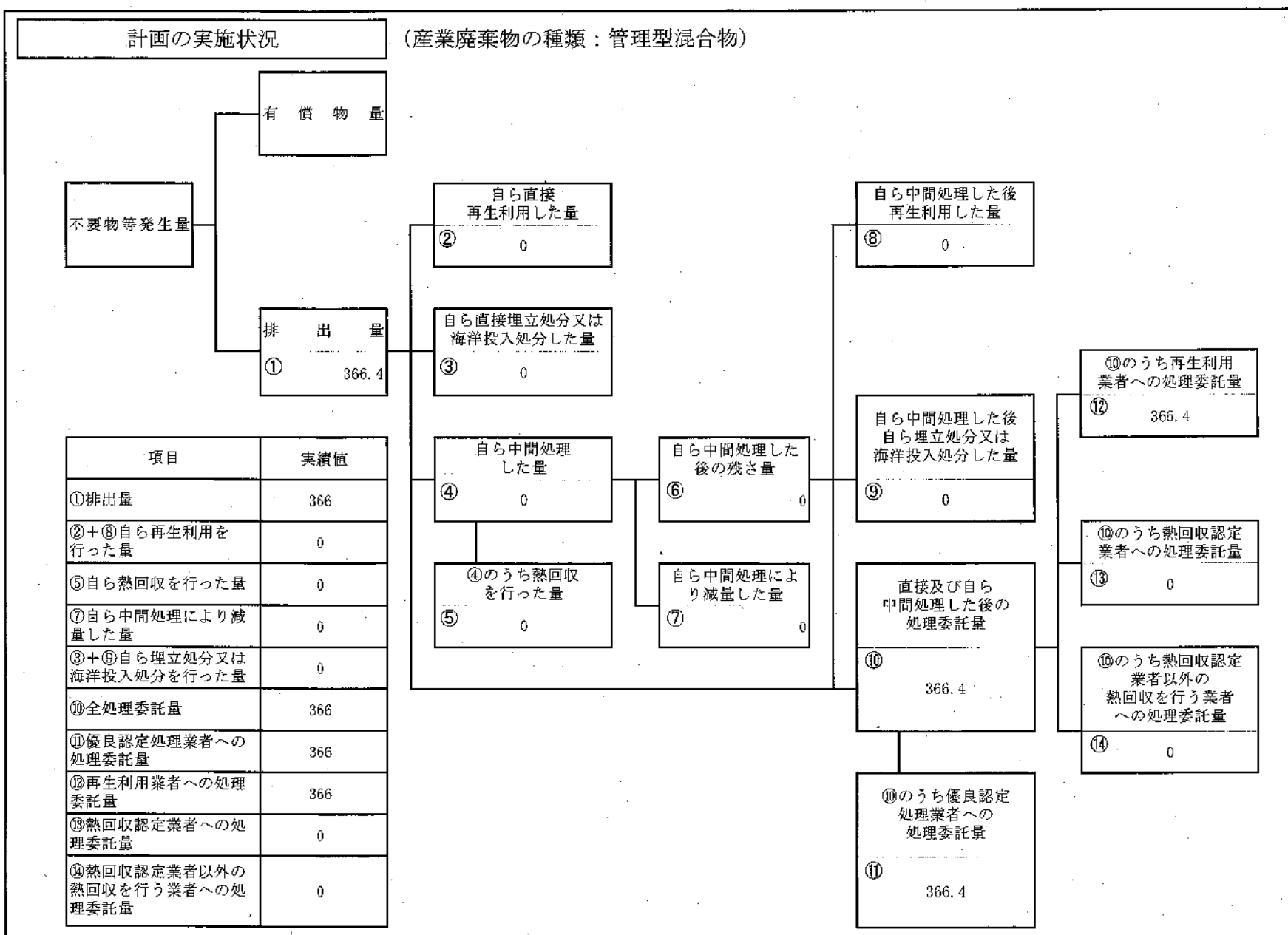
⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

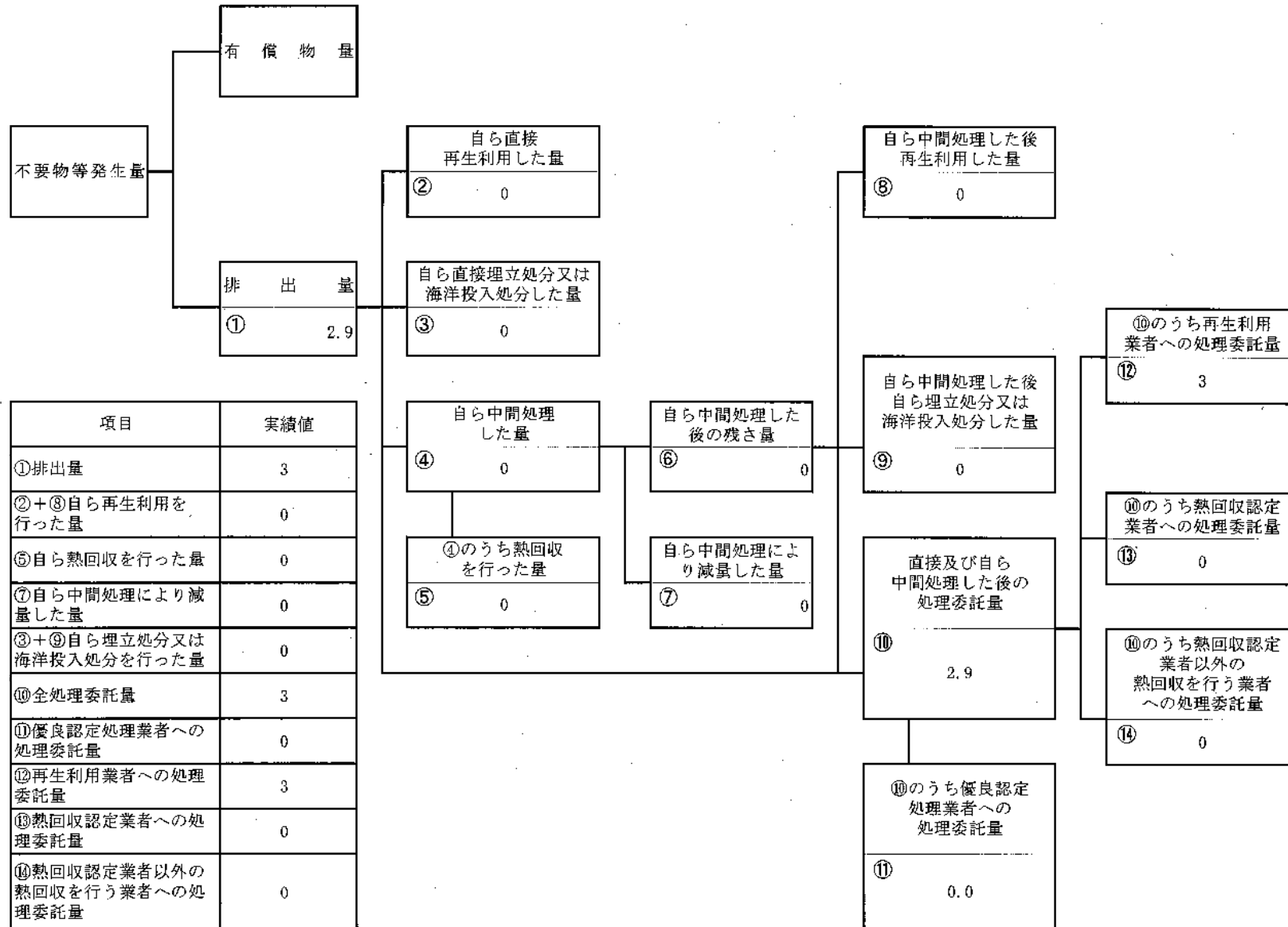
⑭ 0

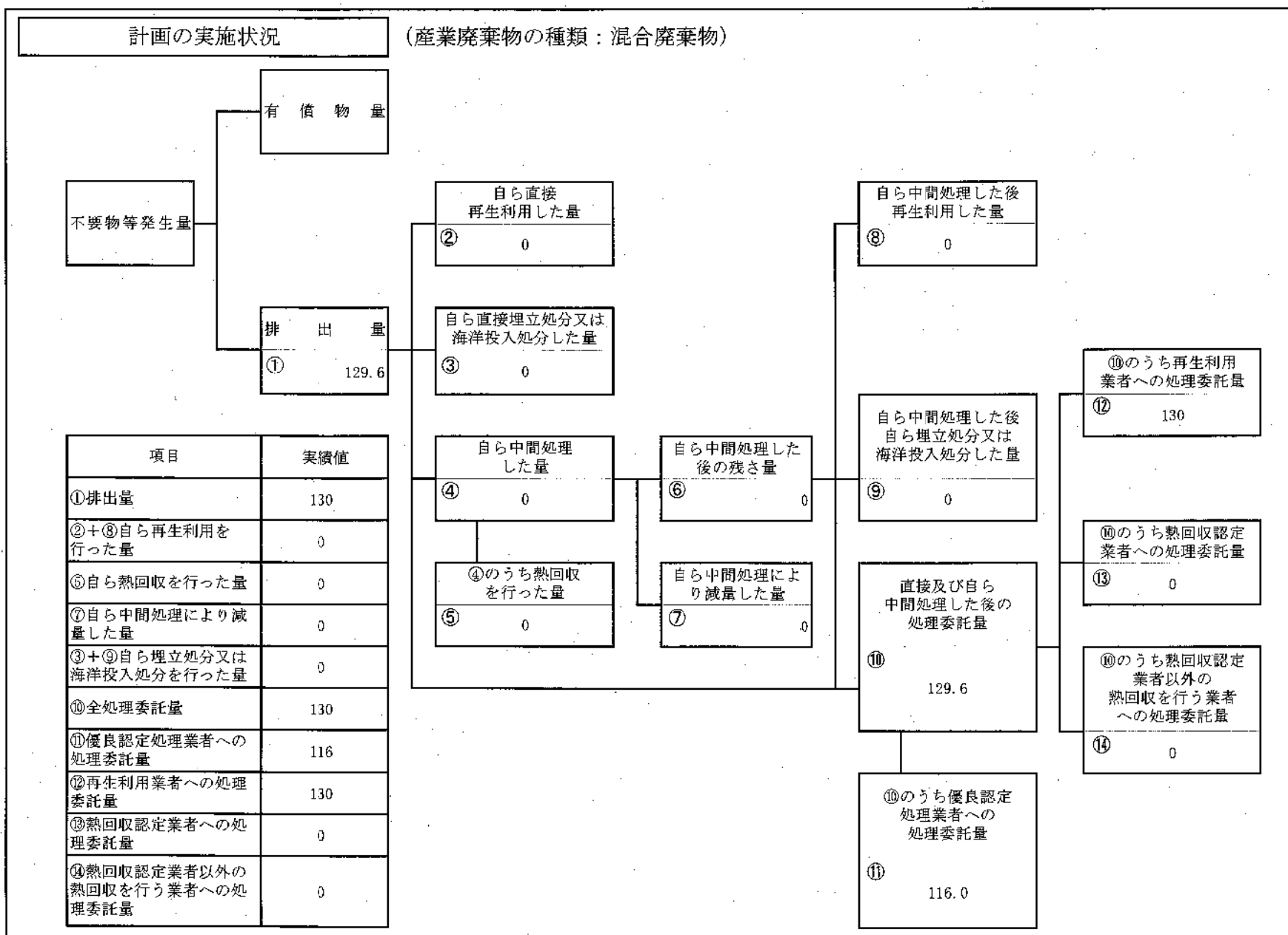
項目	実績値
①排出量	208
②+③自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	208
⑪優良認定処理業者への処理委託量	207
⑫再生利用業者への処理委託量	208
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃酸)





産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	ヤハギ道路株式会社	従業員数 (人)	98	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	勝 裕之	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	340,919	建設業の場合記入。 要知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-46-6211	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		金属くず	廃プラスチック類	管理型 混合物	廃酸	混合物
項目						
前年度計画の実施状況 (前年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	36	208	366	3	130
	b 有価物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	36	208	366	3	130
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	36	208	366	3	130
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	36	208	366	3	130
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	36	208	366	3	130
	処理方法	C	C	E 分別	E 中和分別	E 分別
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	2	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	36	33	348	0	46
	再生利用用途	A	A	A	A・B・C・D E ()	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	175	18	1	84
	埋立処分先	A 県内・B 県外	B	B	B	B
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	36	33	348	0	46
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	2	0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	175	18	1	84

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・熔融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	ヤハギ道路株式会社	従業員数 (人)	104	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	勝 裕之	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	492,020	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-46-6211	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	がれき類	汚泥	紙くず	ガラス 陶磁器くず	木くず
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量 (t/年)	31,728	400	12	6	3,177
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	31,728	400	12	6	3,177
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	31,728	400	12	6	3,177
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	31,728	400	12	6	3,177
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	31,728	400	12	6	3,177
	処理方法	C	B	A	C	C
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	341	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	31,648	59	12	3	3,177
	再生利用用途	D	D	A	A	D
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	79	0	0	3	0
	埋立処分先	B	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	B	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	31,648	59	12	3	3,177
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	341	0	0	0
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	79	0	0	3	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破砕・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。